

2018年8月28日

京都経済記者クラブ 各位

料理旅館 井筒安

京都会所
～Art exhibition fused at the Izuyasu
開催お知らせ

9月9日(日) 13時～16日(日) 17時
「エバレット・ケネディ・ブラウン×山本順子
コラボ展示会」

創業178年、東本願寺近くの料理旅館 井筒安(社名:株式会社 井筒安旅館(いづやす)・京都市下京区・代表取締役 井筒 安次郎)は、定期的にワークショップや和文化の催しを館内で開催しています。

秋のテーマは井筒安の「京都会所」。
エバレット・ケネディ・ブラウン氏の写真作品と山本女史の陶芸作品のコラボ展示会です。

明治以降、急速に姿を消していった日本の伝統文化の姿を深く探求し続けているブラウン氏と、日常のふとした瞬間の自然に感じる美しさの探求をしている山本女史。写真と陶芸がお生花を通して混ざり合う希有な空間を作り出します。

「エバレット・ケネディ・ブラウン×山本順子 コラボ展示会」(入場無料)
9月9日(日)～9月16日(日)
12時～最終入館 21時 (初日は13時から、最終日は17時まで)
期間中、井筒安特製シロップのかき氷をお楽しみください。
(12時～16時・有料・千円程)

*会所とは
中世の時代に始まる 多様な人々が身分や肩書きを超えて交歓し共創する場。
今回の井筒安では「京都会所」と題して 写真家、音楽家、陶芸家、茶道家、宗教家、料理人が一堂に会し各々が持つエネルギーを融合し古くも新しくもある文化発信の場を創造します。



=プロフィール

写真家

エバレット・ケネディ・ブラウン (Everett Kennedy Brown) アメリカ生まれ。88年から日本に永住。日本芸術文化国際センター芸術顧問、文化庁長官表彰(文化発信部門)被表彰者。

epa 通信社日本支局長を経て、2012年より日本文化を海外に紹介する企画に携わる。国内の媒体を始め、「ナショナル・ジオグラフィック」「GEO」「家庭画報 INTERNATIONAL」などに広く作品を寄せる。著書に『失われゆく日本』(小学館)『俺たちのニッポン』、『日本力』(松岡正剛氏との共著)ほか多数。

陶芸家

山本 順子

1974 福井県越前市生まれ 1996 (株) 九つ井 自家窯 陶郷 制作デザイン 入社 2005 Four seasons Pottery 設立 2013 International Chawan exhibition (Taiwan) 東洋美術館 茶会 茶道具出品 (Moscow) 2015 個展 Mizen fine art (Paris) 2017 アートフェア Biennale internationale métiers d' art et création Revelations (Paris) [Awards] 2000/2004 Prize, Mashiko ceramic art international exhibition 2005 Prize, Japan craft exhibition 2012 Prize, EX-TEMPORE PILAN 2012 Slovenia 2013 Cluj Biennale 2013 Romania

本件お問合せ先:

料理旅宿 井筒安 (いづやす)
代表取締役 井筒 安次郎 (いづつ やすじろう)
京都市下京区東洞院通数珠屋町上ル笹屋町 272
TEL 075-371-1574 FAX 075-371-9523

【会社概要】

社名: 株式会社 井筒安旅館 (いづやす りよかん)
店舗名: 料理旅宿 井筒安 (りょうりりよかん いづやす)
Traditional Kyoto Inn serving Kyoto cuisine Izuyasu
所在地: 京都市下京区東洞院通数珠屋町上ル笹屋町 272
代表取締役: 井筒 安次郎 (七代目 いづつ やすじろう)
電話: 075-371-1574
創業: 1839年(天保10年)
事業内容: 料理旅館
URL: <https://izuyasu.com/>

井筒安は創業178年目を迎える、もともと東本願寺の門徒・僧侶をお泊めする旅籠でした。長らく、創業当時の京町家をそのまま保存、修復しながら操業してまいりましたが、現代の顧客ニーズにお応えするため平成25年、創業170年で初めて建物を改修しました。京都駅から徒歩7分、東本願寺から少し奥まった昔ながらの風情を保つ、隠れ家的な宿として皆様にご愛顧いただいております。

「モノ」よりも「コト」、「ひそやかな大人の愉しみ」「特別な体験」を求める観光客が増えています。井筒安では、毎月のように文化サロンを開催して、宿泊客以外にもディープな

京都の伝統文化に触れていただく場をご提供しています。

当日は、創業より七代に渡り受け継いできた美術品の並ぶ京都の文化に触れていただきながら、新しい年を寿ぎ、みなさまと楽しいひと時を過ごすことができれば幸いです。



【メディア実績】

- ① BS日テレ 「船越英一郎 京都の極み」平成 28 年 10 月 2 日放映
[第 36 回京都駅 徒歩で楽しむ古都の味わい] <http://www.bs4.jp/kiwami/>
- ② NHK BS ザ・プレミアム「京都人の密（ひそ）かな愉（たの）しみ」
<https://www.nhk.or.jp/docudocu/program/3303/2420477/>
- ③ BS 朝日 「五木寛之の百寺巡礼—東本願寺—」 2018 年 1 月放映予定
- ④ 出版物 暮らす旅舎 「京都 手仕事帖 京のめぐりあい」

イベント全体のスケジュール

■展示会期間中のトークや茶会は下記のとおりです。

■予約方法

info@izuyasu.com まで、氏名・人数をご連絡ください。

当方からの返信をもって、予約完了とさせていただきます。

「エバレット・ケネディ・ブラウン×山本順子 コラボ展示会」(入場無料)

9月9日(日)～9月16日(日)

12時～最終入館 21時 (※初日は13時から、最終日は17時まで)

期間中、井筒安特製シロップのかき氷をお楽しみください。

(12時～16時・有料・千円程)

○オープニングトークセッション (予約制・有料)

エバレット・ブラウン氏 × 伊藤東凌氏「失われゆく日本」

9月9日(日)18時～

会費 3500円

定員 20名

各分野をけん引されているお二方が会し、まごう方無きこの機会ではか聞けない日本の未来を見据えた京都会所オープニングにふさわしいお話しです。
ドリンク/一品料理（別途有料）をご注文可能です

○茶会・河野 秀海 氏（予約制・有料）

「両忘～あらゆるモノが消え、すべてがそこにある～」

9月15日(土) 1回目 14時~/ 2回目 16時～

各席10名

会費 4000円

深い慈悲の心をお持ちの河野秀海氏がお話しを交えての呈茶。きっとそのお人柄の映したものになるでしょう。孫右衛門のほんず抹茶と山本順子さんのお道具も楽しみです。

○ディナー&トークセッション&ライブ（予約制・有料）

エバレット・ブラウン& 岡野弘幹& 山本順子

「京都会所」

9月15日(土) 18時～

定員 18名

会費 18,000円

お食事をお召し上がり頂きながらのトークライブです。

写真家エバレット氏、音楽家岡野氏、陶芸家山本さんの作りだす空間をぜひ体感して下さい。お話しの流れでは岡野氏のインディアンフルートの即興演奏も！

別途料金で酒を頼まれる方には、山本さんのぐい飲みをご試飲して頂けます。

ドリンク各種別途料金

○Bar Yasujiro（予約不要・有料）

9月15日(土) 21時～

この夜限りの安次郎カウンター。お酒を真ん中に積もる話しもおありでしょうか？
再び会所を開きましょう。

軽食、おつまみ、ドリンク各種有料

○茶会・Mr. Alberto Moro（予約制・有料）

「Alberto Moro's Tea ceremony」

9月16日(日) 1回目14時~/ 2回目16時～

（開始時間が遅れる場合がございます）

各席6名

会費 4000円

ミラノ在住のアルベルト・モロー氏は、空港から来日されたその足で茶席をしていただきます。フライト時間が遅れば始まる時間も遅れますそれも一期一会。スーツでの陰翳礼讃、またとないものになるでしょう。お道具は山本順子さん

◎プロフィール

写真家

エバレット・ケネディ・ブラウン (Everett Kennedy Brown) アメリカ生まれ。88年から日本に永住。日本芸術文化国際センター芸術顧問、文化庁長官表彰（文化発信部門）被表彰者。

epa 通信社日本支局長を経て、2012 年より日本文化を海外に紹介する企画に携わる。国内の媒体を始め、「ナショナル・ジ・オグラフィック」「GEO」「家庭画報 INTERNATIONAL」などに広く作品を寄せる。著書に『失われゆく日本』（小学館）『俺たちのニッポン』、『日本力』（松岡正剛氏との共著）ほか多数。

音楽家

岡野 弘幹

サウンドアーティスト。1964 年生まれ。90 年にドイツ IC DIGIT よりワールドデビュー。民族楽器を多彩に扱い、日本的感性で表現したアンビエントミュージックは欧米のメディアでも広く紹介されている。現在までに発表したソロ、グループのアルバムは、30 作以上。国内外の野外フェスにも数多く出演。ライフワークとして世界の聖地、自然遺産、全国の著名社寺などでの演奏活動を継続するかたわら、サウンドアート制作、映画・テレビ番組等への楽曲提供、様々なイベントの音楽監督など、活動は多岐に渡る。

近年の活動に「大琳派祭」（2015／京都国立博物館）音楽監督と演奏、「第 41 回全国育樹祭」（2017／香川）メインアトラクションの音楽監督と演奏など。

平成 29 年度香川県文化芸術選奨受賞。

プランナー

岡野 純子

NHK スポーツキャスター、マクロビシェフ、などを経て現在は、岡野弘幹のマネージメントを担当する傍ら、作詞、コーラス、司会、イベントプロデュースなど枠にとらわれないチャレンジ精神で活動中。

陶芸家

山本 順子

1974 福井県越前市生まれ 1996 (株) 九つ井 自家窯 陶郷 制作デザイン 入社
2005 Four seasons Pottery 設立 2013 International Chawan exhibition (Taiwan)
東洋美術館 茶会 茶道具出品 (Moscow) 2015 個展 Mizen fine art (Paris) 2017
アートフェア Biennale internationale métiers d' art et création
Revelations (Paris) [Awards] 2000/2004 Prize, Mashiko ceramic art
international exhibition 2005 Prize, Japan craft exhibition 2012 Prize,
EX-TEMPORE PILAN2012 Slovenia 2013 Cluj Biennale 2013 Romania

宗教家

河野 秀海

開基 430 年の浄土宗天龍院（大阪）に二十八世として生まれる。20 歳のころ、沖縄方面離島の洞窟で一年余り暮らす。

40 年ほど前吉福伸逸氏と出会い、ニューエイジ・ムーブメントの洗礼を受ける。1993 年に 28 代目住職と老人ホーム理事長を弟に任せて寺より出家し、八ヶ岳で二泊三日のワークショップ、リトリートなどを通算 25 回開催。その後

10 年ほど整体院を開業し、現在はフリーの僧侶として活動。

2013 年「一般社団法人 森になる」を設立。茶は自己流で点てて来たが、最近裏千家に入門。一般社団法人 森になる代表理事。日本トランスパーソナル学会理事。インド中央政府科公認ヨーガ療法師。

仏教僧

伊藤 東凌

建仁寺「両足院」副住職

臨済宗建仁寺の塔頭「両足院」副住職。両足院で生まれ育ち、建仁寺境内にある

専門道場にて 3 年間の修業を経て僧侶となる。一般的な坐禅や写経体験などの指導をおこなうほか、ヨガと組み合わせた坐禅体験など、現代にそった体験プログラムを提案している。

茶人

アルベルト・モロ (Alberto Moro) ミラノ在住。イタリアの日本文化協会の創設に 2007 年に携わり、現在会長を務めている。ミラノの自治体と日本の総領事館の協力を得て、数々の文化的な取り組みを新たに統括し、成功を収める。1993 年からミラノの裏千家の一員であるアルバート・モロ氏はミラノで茶道を指導している。また、日本文化の専門家でもある。更に、アルバート・モロ氏は写真家としても活動しており、町なかの人々の写真を撮ることを専門としている。2016 年にミラノ・大阪姉妹都市の 35 周年を記念して、大阪自治体からの招待で大阪市役所本庁舎にて写真展を開く。2017 年にミラノにて同様の展覧会を開催。2018 年の 2 月に開催されたミラノにとって最も重要なイベントのための展覧会では、大阪市役所本庁舎の玄関ホールにてミラノの写真を展示

生け花

井筒 美幸

京都 料理旅宿 井筒安 若女将

海外留学、航空会社勤務、翻訳家を経て 2005 年に京都に嫁ぎ、若女将となる。館内の生け花を任されてから試行錯誤を重ね、京都未生流 家元の下で学び始める。暮らしの中にある華道・伝統的な和の魅力に引き込まれ、現在も精力的に精進を重ねている。

料理人

井筒 安次郎

創業天保十年 (1839 年) 京都 料理旅宿 井筒安 七代目 当主 金沢「つる幸」「つる屋」の姉妹店で修業。1996 年代表取締役 同年料理長就任。七代目 安次郎襲名。伝統的な京懐石と新しい技術アイデアがミックスされた料理、風土 (産地)・風味 (旬の味)・風景 (取り合わせの美しさ) を最善なおもてなしで提供する。国内外の文人墨客にも高く評価されている。また、京文化の紹介にも勢力的に活動している。